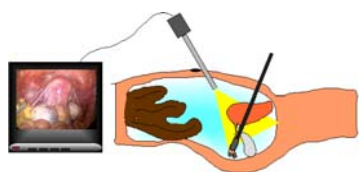




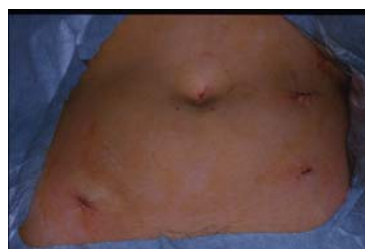
腹腔鏡下手術を受けられる方へ

腹腔鏡下手術とは

腹腔鏡とは、お腹に数カ所小さな穴をあけ、炭酸ガスを入れたりお腹を吊り上げたりしてスペースを作り、そこからスコープや器具をいれて手術を行う方法です。当院では1990年から2003年までに延べ3500症例の腹腔鏡下手術を行っております。



腹腔鏡下手術の様子



腹腔鏡下手術後の傷（4箇所）

10mmの穴が2箇所、5mmが2箇所

腹腔鏡下手術のメリットとデメリット（開腹手術と比べて）

メリット

1. 手術の傷が小さく美容的
2. 術後の痛みが軽い
3. 入院期間が短い（早く退院できる）
4. 早期の社会復帰
5. 術後の癒着が少ない（卵管などの癒着が起りにくく術後不妊症になることが少ない）

デメリット

1. 開腹手術への移行：腹腔鏡手術が安全に行えないと判断した場合
2. 輸血：術中・術後に予期しない出血があった場合
3. 最終診断は術後の組織検査で確定：術前診断と異なる場合
4. 他臓器の損傷：隣接臓器である尿管や直腸の損傷
（子宮内膜症などで高度な癒着がある場合）

腹腔鏡下手術以外の治療の選択肢

1. 良性卵巣嚢腫－ 経過観察、開腹手術
2. 子宮内膜症－ 経過観察、開腹手術、ホルモン療法
3. 子宮筋腫－ 経過観察、開腹手術、UAE、FUS
4. 不妊症－ 体外受精など
5. 子宮外妊娠－ 開腹手術

入院予約

入院予約を入退院係で行ってください。

ご希望される病室の種類によって手術の日程や執刀医が異なる場合があります。

病室の状況によっては、数日間個室に入院していただく場合があります。

入院期間、費用

原則として入院期間は4泊5日（手術前日入院、術後3日目退院）です。ただし、手術の状況や体調によってはより早期の退院も可能です。入院と手術はすべて健康保険の適用されます（個室使用料は除きます）。手術の種類により費用は異なりますがおおよそ40～60万円で、その3割が自己負担となります。

入院後のスケジュール

入院	手術	術後1～2日目	術後3日目
問診、シャワー	朝：浣腸、点滴	朝：採血	朝：消毒
夕食後浣腸	麻酔：全身麻酔	膀胱のチューブをはずし、歩行開始	昼食後退院
		昼：食事開始	